

# 君の夢プロジェクト

— 比布中央学校野球部 編 —

スポーツや文化活動に打ち込む  
子どもたちの  
夢をかなえるプロジェクト



元プロ野球選手

鶴岡 慎也 さん

高校時代は甲子園に2度出場。卒業後、社会人野球を経て平成14年に北海道日本ハムファイターズに入団。長く正捕手として活躍し、令和3年に現役引退後、2023WBCでブルペン捕手として日本代表の優勝を支える。昭和56年生まれ、鹿児島県出身。



1月18日、いちごアリーナで『君の夢プロジェクト野球部編』が行われ、野球部員ら14人が参加しました。このプロジェクトは、スポーツや文化活動の「プロ」の指導や講話を通じて、子どもたちに「本物」を体験してもらおう取り組みです。今回は、昨年引き続き元北海道日本ハムファイターズ選手の鶴岡慎也さんを講師に迎え、技術指導を実施。元プロ野球選手から直接教わるという特別な機会に、子どもたちの表情は真剣そのもの。保護者らも

熱い視線を送りました。

はじめに鶴岡さんは、子どもたちと一緒にストレッチをしながら「野球は股関節の柔軟性が大切」と説明。その後、基本となるキャッチボールやノック、トスバッティングを行い、一人ひとりの動きを確認し、「ナイスボール」と褒めたりアドバイスや練習方法などを細かく指導しました。技術的なコツに加えて鶴岡さんの情熱を間近で感じ、子どもたちは充実した汗を流しました。

約2時間の指導後、鶴岡

さんが「なりたいたい自分になるために」と題した講話を実施。プロを志した小学生の頃から明確な目標を立てて努力した過去を話し、「自分との約束を守る人になってほしい」と伝えました。

誠実かつユーモアあふれる性格で、チームメイトのみならず、多くのファンから愛されている鶴岡さん。サインにも気さくに応じる姿に、野球部主将の上道敬翔さん（8年生）は「貴重な経験。教わったことを今後の練習で生かしたい」と喜びをかみしめました。



1\_足の向きを意識すると相手にまっすぐ投げられると説明  
2\_手本を見せて捕球のコツを伝える 3\_鋭く風を切るバットの音に息をのむ子どもたち 4\_プロ選手になりたいという夢を実現するまでの目標設定や課程をわかりやすく伝える鶴岡さん 5\_スキルアップを誓う上道主将